

# 全国医療ソーシャルワーカー協会会長会 第34回会議 議事録

日 時：2025年6月20日（金）14：00～16：05

会 場：三重県津市公共施設アストプラザ4階会議室1（ハイブリット）

参加者：現地参加36名、オンライン参加15名

## 1. 開会の挨拶

中村敬代表

## 2. 議長の指名

事務局一任で参加者から承認された為、岩手県協会の小泉進会長を議長に指名した。

## 3. 都道府県協会の新会長の紹介

- ・石川県協会会長 中本 富美
- ・兵庫県協会会長 安田 直喜
- ・山口県協会会長 岡野 大介
- ・大分県協会会長 楠本 緑
- ・福岡県協会会長 北嶋 晴彦

## 4. 議題

### ① 提案

- ・会長会則変更に伴うWGから（中村代表(静岡県協会)）

第33回会議でワーキングを立ち上げる事となった経緯以降の経過を報告し、ワーキングで作成した案について説明。日本協会から「相談役」という立場については賛同出来ずに継続審議を希望した。日本協会と都道府県協会との関係性については継続審議とし、ブロックの地域割り当てのみ今回変更したい。

地域や年代によっても日本協会と都道府県協会との関係性の考え方も異なると思われる。今後も丁寧に議論を進めていきたい。

➡質問：佐野神奈川県会長

どの部分のどこを議論したいのかが分からない。

資料の配布が遅かった為、早く共有してもらえれば県協会内でも話し合えた。

⇒回答：野口日本協会会長

今後も日本協会と都道府県協会連携を進めて活動していきたい。今後の話し合いも参加していきたい。

採決の結果、承認となった。

## ② 報告

- ・2024年度報告、2025年度計画について（事務局 清野）

別紙資料を基に2023年度の繰越金から2024年度の収支について報告し、2024年度の繰越金から2025年度の収支計画を説明した。

➡質問：木川副代表（北海道協会）

2025年度計画の支出の管理交通費の100,000円は事務局の交通費に使用するのか？

⇒回答：事務局清野

これは、事務局の交通費ではない。会長会の活動で都道府県協会によっては出張の旅費などが支出出来ない協会があり、支給する可能性があった為、予算計上している。

⇒補足：中村代表

全国大会の会長会企画に登壇してもらう際、自身の協会で旅費が捻出できない協会があり、今後も会長会企画に登壇していただく際に支弁できるようにしたいと考えている。

➡質問：木川副代表（北海道協会）

今回の学会の会長会企画の事と言うなら、日本協会の学会なので日本協会では支給すべきではないか？日本協会の収支としては黒字だと思うので、支給出来るのではないか。収益事業になったのか？日本協会の会員であれば、支給なしというルールになっているが、いつからそうなったのだろうか？日本協会の理事は？

⇒回答：小川組織運営部長

最近ではなく、東京大会からはその規程になっている。私が日本社会福祉士会の全国大会で登壇した際は、参加費も自費で払い、旅費も謝金もなかった。

現在、日本協会の会員が登壇する際の旅費は支給せず、謝金は支給している。

全国大会は、収益事業ではない。一昨年、僅かに収入が上回ったが、昨年の収支はマイナス。

日本協会理事も自費で全国大会の参加登録をしている。旅費については、社員総会や理事会出席の経費として、全国大会の予算とは別に予算を取っている。

⇒回答：野口日本協会会長

日本協会会員への支給がないのは、総会に参加する為に来る事を想定している。その為に旅費などは支給しないルールである。

採決の結果、承認となった。

➡質問：木川副代表（北海道協会）

明日、日本協会の社員総会が開催され、役員選出の議案が出ている。日本協会の中期事業計画で日本協会と都道府県協会の相互加入を推奨するとあるが、理事候補者に都道府県協会に未加入の候補者がいる。理事候補者について、正直、分からない人を選任するため、判断基準にしたいので、候補者名簿に都道府県協会の会員有無の項目を入れてはどうか？

⇒回答：野口日本協会会長

確かにその通りの指摘をいただいた。次回の検討事項としたい。

⇒補足：小川組織運営部長役員選出の議案に対し、選びにくい。どんな人かわかりにくいという意見が会員から寄せられ、今回の最終学歴・職歴・これまでの取り組みといった項目を増やし、会員の方が選びやすくなるように情報量を増やした。ご指摘いただき

た事項は重要な情報なため、次回の役員選出時に取り入れる方向で検討する。こういったご意見を今後もいただき、より良いものとしていきたい。

### ③ その他

・会長会代表について（中村代表(静岡県協会)から）

静岡県協会の総会が先週あり、会長が交代となった。今の会長会ルールだと都道府県協会の会長でないと役員になれない。任期途中の為、辞任し、役員会で互選の結果、坂詰副代表(新潟県協会会長)に代表をお願いすることになった。

## 5. 日本協会からの情報共有、説明等

・朝日新聞の報道に関して(野口会長)

日本協会の対応について、経過や現在の状況、今後の予定について説明した。

・全国医療ソーシャルワーカー協会基礎調査について、小川組織運営部長より、今年度の調査について説明し、依頼することを伝えた。

・eラーニングについて、小川組織運営部長より、実施状況について報告した。

・全国大会立候補の公募について、小川組織運営部長より、別紙の通り、2028年度の開催地を公募することを連絡した。

・フレッシュ医療ソーシャルワーカー研修について、小川組織運営部長より、毎年、年2回行っており、1回はオンライン、もう1回を11月に対面(参集)で開催を予定しており、都道府県協会と連携してフレッシュなソーシャルワーカーを対象に研修を行いたい。

## 6. 三重大会について(高村会長)

翌日からの全国大会について、申し込みが800名以上となった事、無事に開催出来る事について感謝を述べられた。

## 7. 閉会の挨拶(坂詰代表)

坂詰代表より、今回で理事を退任する事務局清野について紹介があり、一言挨拶をした。その後、坂詰代表より会長会代表の意向と閉会の挨拶をして終了した。

閉会后、群馬県協会の学会、九州ブロック研修の佐賀大会について案内あり。

次回の第 35 回会議は次第の通り、10 月 25 日(土)岩手県盛岡地域交流センターで行う  
予定。